

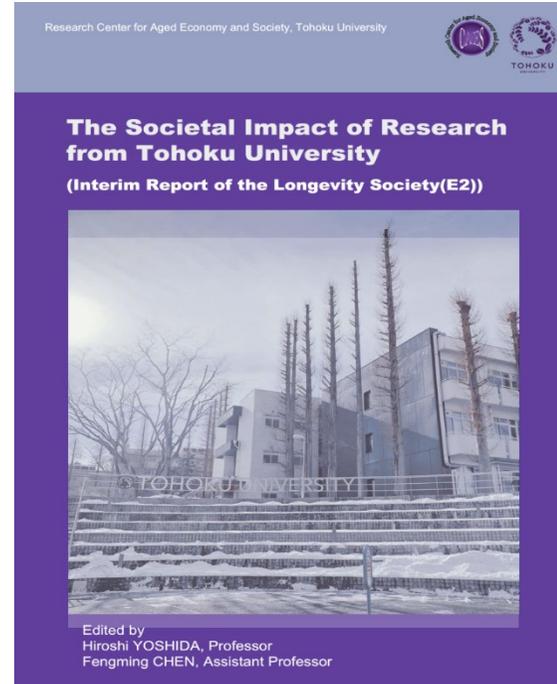


少子高齢社会から心豊かな長寿社会へ

令和4年度における活動実績・成果の概要

- ①吉田教授とMeltem准教授（トルコ：Izmir Demokrasi University）の共同研究の成果は国際学術誌に掲載された。
- ②吉田教授が地域介護の日独比較研究（Ageing and long-term care in German and Japanese communities)の研究会で研究報告を行った。また、報告内容は書籍の一部として刊行された。
- ③2023年2月7日（火）に高齢経済社会研究センターが「高齢社会における問題提起・解決に向けてⅡ」の題で社会にインパクトある研究シンポジウムを開催した。6名の学内外の研究者より社会保険財政に関する研究報告を行った。参加者15名。開催日時：令和5年2月7日（火）10：00～17：10
- ④吉田教授と陳助教がプロジェクトの研究成果集（英語版）を作成した。
- ⑤プロジェクトメンバーが高齢経済社会研究センターのニュースレターを通じて、研究成果を積極的に社会に発信した。（年間12号、28本の研究短信）
- ⑥社会貢献として吉田教授が令和4年度宮城県統計大会にて、「未来の日本の針路と統計調査の貢献」と題し、招待講演を行った。
- ⑦吉田教授の若年世代の投票率と経済格差の研究がテレビ、新聞等多数のメディアに引用された。

東北大学大学院経済学研究科高齢経済社会研究センター
<https://sites.google.com/view/caestop/home>



令和5年度「高齢社会における問題提起・解決に向けてⅡ」シンポジウムの様子（報告：吉田教授）